

～芝居公演から芸能大会へ～ 敬老月間ふるさと芸能大会の開催について

加西市では、例年あったか推進のつどいや、敬老月間事業などを実施し、高齢者の皆さんの長寿をお祝いしてきましたが、本年度は加西市老人クラブ連合会のご協力を得て、プロの芝居を受け身で観るこれまでの芝居公演に代えて、高齢者の皆さん自身に相互に出演していただく芸能大会を実施することにいたしました。

高齢化社会では、高齢者の皆さんの豊富な知恵と経験を生かしていただくことが大事です。そうすることが高齢者の皆さんの生き甲斐づくりにもなります。

公民館活動など地域で活躍されている芸達者な方々が市内には沢山いらっしゃり、発表の機会が欲しいという方も多いです。そこで今回、加西市芸能協会、公民館の登録グループの皆さんにも出演していただくことにしました。コーラス・マジック・舞踊など、多彩な催しの「敬老月間ふるさと芸能大会」となるよう期待しています。

期間中は、健康福祉会館のお風呂の無料開放やバザーもありますので、是非ふるさと芸能大会にご参加いただき、楽しい一日をお過ごしいただきますようご案内申し上げます。
(加西市長)

開催期間：9月1日～9月12日（月曜日を除く）

開催時間：午前10:30～午後3:00

開催場所：健康福祉会館大会議室（ホール）

内 容：午前 ～いくつになっても現役で～
いきいきミニ健康づくり

午後 芸能協会・公民館による芸能大会

日	出 演	日	出 演
1 (土)	北部公民館	7 (金)	中央公民館
2 (日)	中央公民館	8 (土)	南部公民館
4 (火)	南部公民館	9 (日)	善防公民館
5 (水)	善防公民館	11 (火)	加西市芸能協会
6 (木)	北部公民館	12 (水)	加西市芸能協会

対 象 者：市内に住むおおむね65歳以上の方

問 合 先：加西市老人クラブ連合会 ☎@5670

加西市長寿介護課 ☎@8728



お盆と初盆の供養 — 荒魂と和魂 —

『加西市史』第六巻「民俗」より



写真 精霊棚

お盆は、この時期にあの世から帰ってくる靈魂をお迎える祭です。靈魂には和魂にぎみたまと荒魂あらみたまという二つの状態があります。人が亡くなった直後の魂は荒魂たで祟りやすい不安定な状態です。これを鎮め和魂しずへと浄化していくことが供養です。「忌（四十九日）」が明けたのち五月の花ハジメを経ることにより、荒魂だった魂は和魂の仲間入りをします。

花ハジメまでに忌明けを迎えた霊は和魂となっているので、初盆は他の先祖霊と一緒に仏壇で迎えることができます。忌明けが花ハジメ以降になる霊は、まだ荒魂で和魂と一緒に祀ることができないので、仏壇とは別に精霊棚しょうろうだなを設け初盆を迎えます。

初盆を終えると、法事のような年忌供養以外は「故〇〇さんの供養」から、祀り方も先祖霊と一緒に「先祖供養」の形となります。そういう意味では、供養とは「荒魂だった靈魂から個性やしがらみを取り払い、穏やかな先祖霊（和魂）との一体化を促すこと」といえるのではないのでしょうか。

このコーナーでは、加西市史について皆さまに分かりやすく紹介します。